

始める前のお願い

このパワーポイントに使われる子どもの写真は

東京家政大学ナースリールームと一般家庭、小西貴士氏（写真家）

許可を得て使用しています。

写真の撮影や保存はご遠慮ください。

2022年神奈川県私立幼稚園連合会 2

乳児保育における環境構成

井桁 容子

乳幼児教育実践研究家

非営利団体コドモノミカタ代表理事

最近よく質問されること

理事長・20代の保育者・保育関係ライター・子育て中のお母さんなどから

・0歳児の保育に疑問

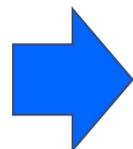
食事・・・乳児の食事時間は15分と決め、もっと食べたがっても切り上げるのは子どもにとってどうなのか疑問？
順番を固定していて、空腹で泣いている子どもがいても食べさせないのはなぜ？
ほかに空腹の子どもがいても、1対1で食べさせることを優先して泣いている子どもに与えないのはなぜ？

生活・・・何をするにも、関わる順番は固定されているほうが乳児の心が安定すると0歳児担当の保育者が言うが納得いかない。それは本当に子どものため？

「保育」と「育児」の違いは？

〇〇を見れば、□□が分かる

安全
な
環境

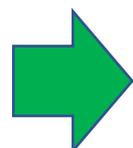


心的安全

(安心・安定)

物的安全

(もの・ひと・こと)



人的環境

(子ども、保育者など・家族・地域)

物的環境

(施設・遊具・家庭・地域社会・自然)

心の安全のための
人的環境としての
保育者のまなざしと
関わりについて考えてみます。

(前回尋ねました)

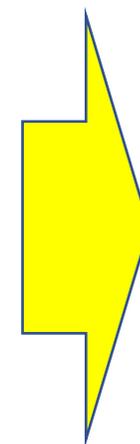
考え方を

揺さぶられることを好まないAさん

変化なくいつも同じように暮らしたい

揺さぶられることを好むBさん

わくわく ドキドキ 目からウロコ



子どもへの対応
環境作りが違いそう

乳幼児の生活は

- ・できるだけ生活時間や内容は決まっているべき？
 - 決まった時間はやりやすい
 - 子どもの心身の状態はいつも同じとは限らない
- ・みんなと同じことができることが望ましい？
 - できない子どもだけチェックし対応すればよい
 - 一人一人に好きなことや得意なことが違う
- ・「かして」「いいよ」「ごめんね」「いいよ」
と言えるようになると、やさしさは育ったと感じる？
 - 早く解決したい
 - 双方の気持ちが変わりあえる経験にしたい
- ・ケンカやいざこざは、起こらない保育が望ましい？
 - 泣いたりケガをしたら困る
 - 自分の気持ちを抑え込まず表現し、だんだん相手の気持ちに気づくように

保育者は、

常に変化する事柄に応答的な対応が求められるのだから

柔軟性が必要

ワーク 1

あなたがY君のそばにいたら

1. この行為をどのように捉えましたか？
2. 心的安全への配慮
3. 物的安全への配慮

グループワーク・シェア (15分)

乳幼児期の心身の発達を知らなければ

子どもを信頼する根拠が弱い



安全な環境は保障できない

大人と子どもの感覚の違い

五感は大人より敏感

聴覚

大人のように選択的に聴くことができない

子どもは、大人より聴覚がすぐれているが、混ざり合う音の中から選択的に聴くことができない
※吸音措置をした保育室の子どもは認知力に差が出たという研究結果も
(言葉の伸び、諦めずに取り組む力、文字認識)

味覚

大人よりも敏感だから野菜嫌い

「共感覚」

赤ちゃんの五感の不思議

1つの刺激を複数の感覚で認識する
(口からの触覚刺激が、視覚にも影響)

嗅覚

新生児期に母親の母乳をかぎ分ける
大人より優れている

「なんか臭い！」



「いい匂いがするね」

視 覚

新生児 0.02

3～5歳で大人と同じ視力（視野は大人より狭い）

「選考注視」 「順化・脱順化」 「共同注意」 「社会的参照」



目を合わせることは心の育ちに大きい

目を見て、子どもに関わっていますか？

ヒトは

相手を知ろうとするとき
分かりあいたいとき
分かりあえたとき
必ず相手の目を見る



心がつながるための原点
生まれながらに備わっている

いきなり背後から抱き上げたりしてませんか？

心の安心・安全を保障する環境が重要！

「社会的参照」

生後9ヵ月以降
三項関係

「共同注意」

生後9ヵ月頃

目を合わせることで心が育っていく

保育者の子どもも理解によって
安全な保育環境はつくられる

アフォーダンス理論の応用

J・Jギブソン（心理学者・アメリカ）

保育で活用される「絵本」から考えてみます

保育室のどこに置かれてますか？

コミュニケーションツールとして使えることを1歳でも知っている

この経験を学びに変えて見せるのが保育者

コミュニケーション力が
発揮される

一度やってみたかったことを

実現する

自由な心を持つ子ども

倉橋惣三 「生活を生活で生活へ」

(子どもは生活の中で学び生活を作る)

子どもの行為を点で見るか

つながりで見るとかで、

関わりやかける言葉が大きく変わる

倉橋惣三

「生活を生活で生活へ」

(子どもは生活の中で学び生活を作る)

エピソード

Aちゃん（1歳）が

食事の時に、エプロンを保育者にしてもらったなら「もっと！」と言った。

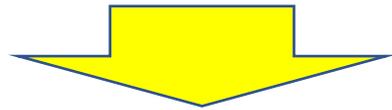
あなたは、どう対応しますか？

養護と教育を一体的に行う保育環境

温かく、受容的、応答的な関わり

安定した大人との関係

生活がゆとりをもって豊かに展開される



育て急がない

自由に玩具を選択できる環境で
その扱いに一人一人のこだわりが見えてくる



主体的な遊びの中に
子どもの特性が見える

保育者の子どもへの共感性は

豊かな環境につながり

子どものしなやかな発想を引き出し

豊かな学びにつながる

環境の重要性

学ぶことのできる

自分の五感を通して

人間の悟性に入ってくるすべてのものは
感覚を通して入ってくるのだから、
人間の最初の理性は感覚的な理性だ。
それが知的な理性の基礎になっているのだ。
わたしたちがついて学ぶ
最初の哲学の先生は
わたしたちの足、わたしたちの手、
わたしたちの目なのだ。

『エミール』ルソー著 今野一雄訳より

<見守るとは>

- 好奇心 知識欲、感性を認める
(理解・共感)
- 状況を知らせる (知識化)
 - 床が濡れると滑って危ない
 - 水は大事
 - 他の人が待っている
- どうするか待つ (理解・共感)
 - 相手の思い、自分の気持ち
- 対応方法の助言 (知識化)

環境としての保育者

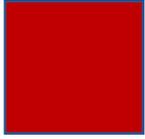
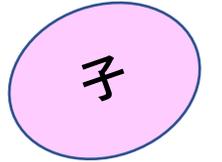
保育者の位置でその人の保育観が分かる？！

- ・ 子どもの特性が見え、子ども理解が深まるポジショニング
- ・ 保育に見通しがもてる視野の確保

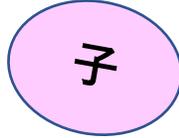
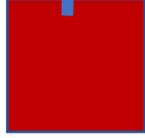
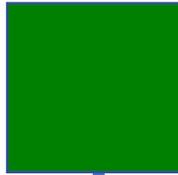


共感的、応答的な関わりにつながる
おおよそその子どもの行為を洞察し、事故を防ぐ

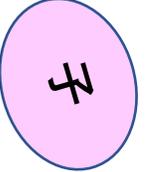
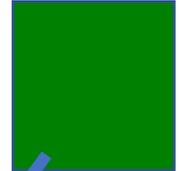
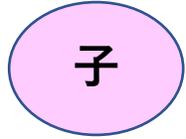
ママごとコーナー



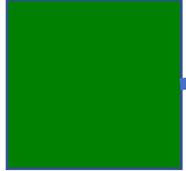
本棚



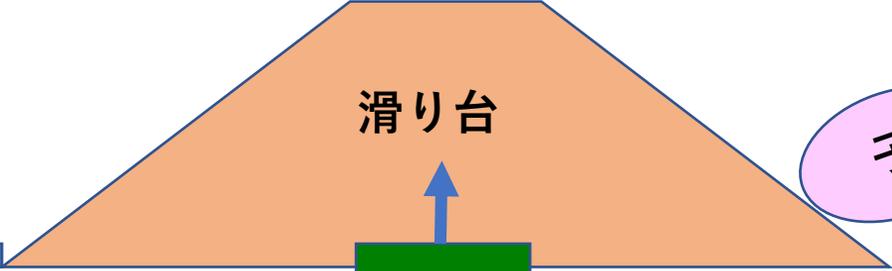
おもちゃの棚



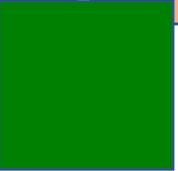
窓



マット



滑り台



専門性の高い保育者は

**子どもたちの行為の意味を知ろうとし
学びとして尊重する**



保育者自身の位置に配慮



危機管理ができ安全な環境になる

最近、美しいなあと感じたことは？

美しいと感じる給食が
あってもいい

管理栄養士の向上心から

こんな美しい給食が

出されるようになったた





無駄になりそうなものをさりげなく

活用される環境

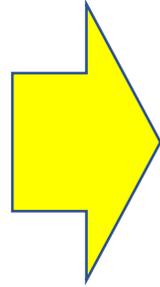
色彩に興味のある子ども

フォルムに興味のある子ども

美しさを楽しむ友達に
刺激される経験

「美しい」と感じること

- 意欲がわく
- 憧れ
- 違いが分かる
- 疑問がわく
- 大切にする
- 創造性が高まる
- 表現力が高まる



「心」が育つ
「心」が豊かになる
「心」がつながる

逆境から立ち直る力（レジリエンス）

私は将棋の駒

<

私は将棋の指し手

強さ・賢さ

<

しなやかさ
柔軟な思考

大人の指示通り

<

自分の気持ちや
考えを表現できる

多くの人「処理流暢性が高い」ことを好む

分かりやすいことを好む傾向

回りくどさを嫌う

間違えていることでもわかりやすくいわれると

受け入れやすい



鵜呑み型・思考停止

感じる力が弱まり、新しい発想が生まれない

早く食べさせるには？

保育者が**処理流暢性が高い**方を好むと・・・

どうしたらまとめて子どもを動かせる？

考えさせないでパターンで・・・

思い切り

そっと

を経験して

加減を知っていく





「速く成長するものは すぐに枯れ

ゆっくり成長するものは 永存する」

—J.G.ホーランドー

保育や

子どもの育ちに

効率性を求めず

育て急がず

一見無駄なことに

見えることに

意味や訳を

見つけて

ワクワクしながら

大切に

感じて考える

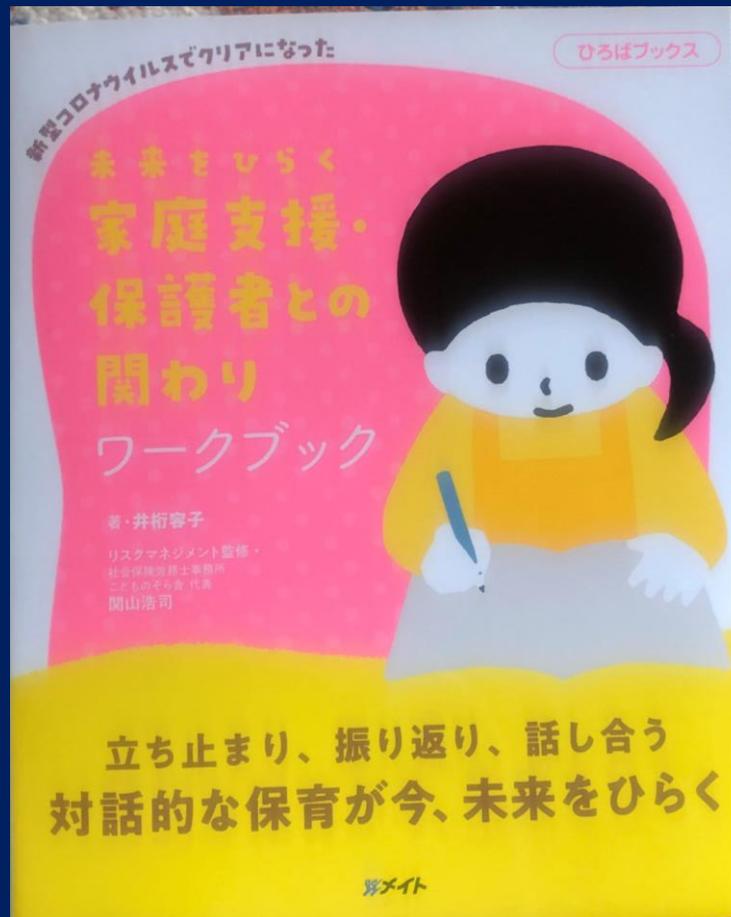
保育者



「子どもって、
みごとに人間だ！」

佐伯胖・井桁容子共著

(フレーベル館)



「未来をひらく
家庭支援・保護者との関わり」
ワークブック

井桁容子 著 (メイト)



「子ども主体で考える
かみつき・ひっかき」

井桁容子 著 (学研教育みらい)